

海軍公報

第八百六十三號

海軍大臣官房

昭和四年十二月二日(月)

○辭令

○昭和四年十二月一日

任海軍技手

多治見一郎

給七級俸

海軍艦政本部勤務海軍技手

藤崎 藤作

横須賀海軍工廠附ヲ命ス

同 多治見一郎

海軍艦政本部勤務ヲ命ス

同 土橋 豊吉

給四級俸 依願免本官(以上十一月海軍省)

第二課勤務ヲ命ス

海軍少佐 橋本 象造

第一課勤務ヲ命ス(以上十一月海軍省軍務局)

(各通)

海軍少將 津田 静枝

臨時資金前渡官吏ヲ免ス

海軍公報 第八百六十三號

昭和四年十二月二日

二四七

上海、南京、漢口駐在員ニ要スル經費支拂ノ爲臨時資金前渡官吏ヲ命ス(以上十一月海軍省經理局支出官)

海軍主計中佐 加納 金三郎

○雜款

○旗艦變更

第五戰隊司令官ハ十一月三十日旗艦ヲ衣笠ヨリ青葉ニ變更セリ

○著任、退應

新任 海軍省教育局長 海軍大佐 田畑 啓義 十一月三日著任
前任 海軍省教育局長 海軍大佐 宇野 積藏 十一月三日退應

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○十二月二日午前十時調

【横須賀】阿蘇、筑摩、日進、金剛、八雲、古鷹、

加賀、長門、五十鈴、春日、滿州、口山城、

榛名、青葉、衣笠、加古、赤城、鳳翔、

野風、沼風、波風、神風、峯風、澤風、

矢風、沖風、灘風、汐風、島風、夕風、

太刀風、帆風、羽風、秋風、朝風、春風、

松風、旗風、楠、梅、榊、杉、柏、松、

桂、楓、

呂一、呂二、呂三、呂五六、

呂五四、呂五五、呂二二、呂二〇、

呂二一、呂五八、呂五七、呂五九、

伊二、伊一、伊三、伊二四、伊二一、

伊三、伊二三、

掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、

富士、尻矢、膠州、大和、鳴戸、青島、

(伊五九)

【浦賀】(嚴島)

【大湊】大泊

【吳】霧島、平戸、扶桑、勝力、淀、日向、

神通、大井、韓崎、白鷹、天龍、阿武隈、

伊勢、那珂、妙高、那智、鬼怒、長鯨、

江風、谷風、菊、葵、海風、山風、楢、

榎、濱風、時津風、天津風、磯風、

若竹、吳竹、早苗、早蕨、萩、葛、藤、

薄、夕顔、芙蓉、刈萱、朝顔、深雪、

初雪、白雪、吹雪、霞雲、東雲、薄雲、

白雲、磯波、浦波、

呂一、呂二、呂二八、呂五三、

呂五一、呂二七、呂二六、呂一四、

呂一五、呂一六、呂一八、呂一七、

呂一九、伊六一、伊五二、伊五一、

伊五五、伊五三、伊五四、伊五八、

伊五六、

掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一一、掃一二、

劍崎、攝津、石廊、朝日、間宮、襟裳、

室戸、

(伊五七)、(伊六四)

【大阪】(二見)、(綾波)

【神戸】(伊四)、(伊六二)

【德山】神威

【舞鶴】吾妻、多摩

【佐世保】(敷波)

若宮、夕張、川内、駒橋、出雲、球磨、

龍田、常磐、熱海、比叡、陸奥、込、

由良、長良、名取、足柄、羽黑、

桐、櫻、橘、樺、□阜月、水無月、文月、
長月、□望月、菊月、三日月、夕月、□蟹、
桃、柳、檜、□竹、樅、榎、梨、□追風、
疾風、朝風、夕風、□葦、菱、蕙、□如月、
陸月、彌生、卯月

呂一、呂三、呂四、呂五、呂二五、
呂二四、呂三三、呂三〇、呂二九、
呂三二、呂六五、呂六六、呂六七、
伊六三、呂六八、呂六三、呂六四、
呂六〇、呂六一、呂六二

敷島、知床、能登呂、鶴見、早柄、野島
(朝霧)、(伊六〇)

馬公、樺、榆、栗
旅順、樺、樺、樺、桑

青島、木曾、對馬

上海、保津

南京、利根

蕪湖、伏見

九江、船越

漢口、矢矧

長沙、閩田

宜昌、壘田、比良

重慶、勢多

廣東、宇治

【航海中】

隱戸 (十一月十六日吳發)「ロスマンゼル」へ
佐多 (十一月二十一日佐世保發)「ロスマンゼル」へ
磐手、淺間 (十一月二十四日「ヒロ」發)「ヤル」へ

北上 (十一月二十九日基隆發)「横須賀」へ
洲崎 (十一月三十日「ホノルル」發)「ロスマンゼル」へ

高崎 (十一月三十日吳發)「横須賀」へ
安宅 (一日漢口發)「上海」へ

鳥羽 (一日沙市發)「上海」へ
浦風 (一日上海發)「南京」へ
呂三一 (一日佐世保發)「舞鶴」へ

(部内限ナシ)

海軍公報

第八百六十四號

昭和四年十二月三日(火)
海軍大臣官房

○令達

官房第三四一六號ノ三
昭和四年度歳出科目左ノ通追加ス

昭和四年十二月三日

海軍大臣

歳出臨時部

款	項	目	解	疏	會計科目 電信略號
(災害費)	横須賀鎮守府管内 災復舊及新營費	建造物復 舊及新營			ケヘ
	横須賀鎮守府管内工 廠其他風水害復舊及 新營費	建造物復 舊及新營			ケト
	佐世保鎮守府管内風 水害復舊及新營費	建造物復 舊及新營			ケリ
					ケヌ

○通牒

官房第二〇〇〇號ノ五

昭和四年十二月三日

海軍次官

吳鎮守府參謀長殿
第一、第二艦隊

外國船チドリ號船長更迭ノ件通牒

外國船チドリ號内地不開港場寄港ノ件ニ關シ本年九月十日官房第二〇〇〇號ノ四ヲ以テ通牒致置候處今般左記ノ通船長ヲ更迭セル旨通知有之候

記

舊船長 英國人 アルフレッド、ヒル
新船長 瑞西人 イー、ジ、エー、ブラック

(九月十日本欄参照)

海軍公報 第八百六十四號 昭和四年十二月三日

一三五

2097

○ 辭 令

電信課勤務ヲ命ス(註明海軍大臣官房)
海軍大尉 安田 翁

第一部第二課勤務ヲ命ス
海軍中佐 堀内 茂禮

(各通)
海軍少佐 井土 益三
海軍大尉 出石 寛二

第一部第一課勤務ヲ命ス
同 山田 豊

(各通)
海軍機關大佐 平岡 礪
海軍機關中佐 足立 吉平

第二部勤務ヲ命ス
同 三戸 由彦

(各通)
同 北野 綱雄
同 正田 十吉

總務部第一課勤務ヲ命ス
同 鈴木 武次

第四部勤務ヲ命ス
海軍機關少佐 向野 一

總務部第一課勤務ヲ命ス
海軍造船少佐 芳井 一夫

海軍造船機大尉 喜安 貞雄
第四部勤務ヲ命ス(以上註明海軍艦政本部)

(各通)
海軍少佐 井土 益三
海軍機關少佐 鈴木 師

技術部勤務ヲ命ス(註明海軍航空本部)

○ 雜 款

○軍艦五十鈴行動豫定

地名 着 發
横須賀 十二月十七日 十二月十二日
馬 公

○第二十九驅逐隊(追風、疾風、朝風、夕風)行動豫定

地名 着 發
佐世保 十二月六日 十二月五日
鎮 海

○第六潜水隊(呂五七、呂五八、呂五九)行動豫定

地名 着 發
横須賀 十二月八日 十二月六日
吳

○呂號第三十一潜水艦行動豫定

地名 着
 佐世保 十二月一日 發
 舞鶴 十二月三日

○特務艦室戸行動豫定

地名 着
 吳 十二月十日 發
 西戸崎 十二月十日 十一日
 佐世保 十二月十日 十三日
 鎮海 十二月十四日 十六日
 吳 十二月十七日 十九日
 横須賀 十二月二十一日 二十四日
 吳 十二月二十六日

○郵便物發送先

第二十九驅逐隊(追風、疾風、朝風、夕風)宛
 十二月四日迄ニ到達見込ノモノハ 佐世保
 其ノ後ハ 鎮海

第六潜水隊(呂五七、呂五八、呂五九)宛
 十二月五日迄ニ到達見込ノモノハ 横須賀
 其ノ後ハ 吳

特務艦早鞆宛

十二月十二日迄ニ到達見込ノモノハ 佐世保
 五年二月二十七日迄ニ同

二月二十三日迄ニ同 横濱郵便局氣付(軍艦郵便)
 其ノ後ハ 佐世保

特務艦襟裳宛

十二月十四日迄ニ到達見込ノモノハ 吳
 五年一月十九日迄ニ同 德山
 其ノ後ハ 吳

○海軍艦政本部監督官異動

出張 地方	職	官 氏 名
神戸 (首席) 官海軍航空本部造兵監督	造船監督官兼造兵監督 官海軍航空本部造兵監督	海軍少將 小野寺 恕
同	海軍艦政本部出仕兼造船兵監督會計官	海軍主計少將 永宮二男造
東京	造船監督官兼造兵監督 官海軍航空本部造兵監督	海軍中佐 福澤哲四郎
同	海軍艦政本部部員兼造船兵監督官	同 堀内茂禮
大阪 (首席) 官海軍航空本部造兵監督	造船監督官兼造兵監督 官海軍航空本部造兵監督	海軍機關大佐 中道忠夫
名古屋 (首席) 官海軍航空本部造兵監督	海軍航空本部造兵監督 官海軍航空本部造兵監督	同 花島孝一

浦賀	造船監督官	海軍機關中佐	竹林 晃
神戸	造兵監督官	同	清水龍之助
大阪	造船監督官	同	西海 賢治
東京	同	海軍機關少佐	林 敏之
大阪	造兵監督官	同	西澤 見信
浦賀 (首席) 兵監督官	造船監督官兼造	海軍造船大佐	中川 駿
長崎 (首席)	同	海軍造船大佐	松田 竹太郎
神戸	造船監督官	海軍造船大尉	松本 彦三郎
同	同	同	神谷 健雄
同	同	同	池上 利有

○艦船所在

△印ハ「ハ」ホシ
指定ヲ要セズ

○十二月三日午前十時訓

【横須賀】

阿蘇、筑摩△、日進△、金剛△、八雲△、赤城、古鷹、北上、長門、五十鈴、春日、滿州、戸山城、榛名、▽青葉、衣笠、加古、▽加賀、鳳翔

▽野風

沼風、波風、神風、▽峯風、澤風、矢風、沖風、▽灘風、沙風、島風、夕風、▽太刀風、帆風、羽風、秋風、▽朝風、春風、松風、旗風、▽楠、梅、▽榊、杉、柏、松、桂、楓

呂一、

呂二、呂三、▽呂五六、呂五四、呂五五、▽呂二二、呂二〇、呂二一、▽呂五八、呂五七、呂五九、▽伊二、伊一、伊三、▽伊二四、伊二一、伊三二、伊三三

▽掃六

掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、富士、尻矢、膠州、大和、鳴戸、青島

【浦賀】

【大湊】

【吳】

霧島△、平戸、扶桑、勝力、淀、日向、▽神通、大井、韓崎、白鷹、天龍、阿武隈、(伊五九)

海軍公報 第八百六十四號 昭和四年十二月三日

伊勢、那珂、妙高、那智、▽鬼怒、▽長鯨、▽江風、谷風、菊、葵、▽海風、山風、楢、▽若竹、吳竹、早苗、早蕨、▽萩、葛、藤、薄、▽夕顔、芙蓉、刈萱、朝顔、▽深雪、初雪、白雪、吹雪、▽霞雲、東雲、薄雲、白雲、磯波、浦波

呂一、呂二、呂二八、▽呂五三、呂五一、▽呂二七、呂二六、▽呂一四、呂一五、呂一六、▽呂一八、呂一七、呂一九、伊六一、▽伊五二、伊五一、伊五五、伊五三、伊五四、▽伊五八、伊五六

▽掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一一、掃一二、室戸、劍崎、攝津、石廊、朝日、間宮、襟裳

【大 阪】 (二見)、(綾波)

【神 戸】 (伊四)、(伊六二)

【舞 鶴】 吾妻、多摩△

▽速△、蓼△、蓬△

【佐世保】 若宮、夕張、川内△、駒橋、出雲、球磨△、龍田、對馬、常磐、熱海、比叡、陸奥、▽迅鯨、▽由良、長良、名取、▽足柄、羽黑

(敷波)

一二五五

桐、櫻、橘、樺、
 長月、望月、菊月、三月月、夕月、
 桃、柳、檜、竹、樅、榧、梨、
 疾風、朝風、夕風、
 睡月、彌生、卯月
 呂二、呂三、呂四、呂五、呂二五、
 呂二四、呂二三、呂三〇、呂二九、
 呂三二、呂六五、呂六六、呂六七、
 伊六三、呂六八、呂六三、呂六四、
 呂六〇、呂六一、呂六二
 敷島、知床、能登呂、鶴見、早鞆、野島
 (朝霧)、(伊六〇)
 馬公、
 旅順、
 青島、
 上海、
 南京、
 漢口、
 九江、
 長沙、
 宜昌、
 重慶、
 廣東、
 宇治
 航海中

隱戸 (十一月十六日吳發)「ロスマンセルス」
 佐多 (十一月二十一日佐世保發)「ロスマンセルス」
 磐手、淺間 (十一月二十四日「ヒロ」發)「ヤルト」
 洲崎 (十一月三十日「ホノルル」發)「ロスマンセルス」
 高崎 (十一月三十日吳發)「横須賀」
 安宅 (一日漢口發)「上海」
 鳥羽 (一日沙市發)「上海」
 呂三一 (一日佐世保發)「舞鶴」
 利根 (三日南京發)「上海」
 神威 (三日徳山發)「鹿川」

(部内限二頁、同附録五頁)

海軍公報

第八百六十五號

海軍大臣官房

昭和四年十二月四日(水)

○辭令

(各通)

海軍中佐 脇坂 乘平
海軍少佐 山本 六郎

(各通)

第一課勤務ヲ命ス
海軍大尉 花田 廣
同 内田 耕三

第二課勤務ヲ命ス(以上註明水路部)

庶務課附ヲ命ス 海軍特務少尉 黒宮市太郎
海軍兵曹長 山崎 重長
電氣研究部附ヲ命ス(以上註明海軍技術研究所)

○雜款

○司令潜水艦變更
第二十六潜水隊司令ハ十一月三十日司令潜水艦ヲ呂號第六十潜水艦ヨリ呂號第六十一潜水艦ニ變更セリ

○特務艦早執行動豫定

地名

着

發

佐世保	五年一月八日	十二月十三日
ホノルル	二月二十五日	五年二月十三日
德山	二月十九日	二月二十八日
鹿川	二月二十一日	二月三十一日
德山	二十三日	二十三日
佐世保	二十五日	二十四日

○特務艦機震行動豫定

地名

着

發

吳	三月二十七日	十二月十五日
タラカン	五年一月二日	二十九日
マニラ	十五日	五年一月五日
德山	十七日	十七日
鹿川	十九日	十九日
德山	二十一日	二十日

○著任、退願

新任 海軍省人事局長 海軍大佐 岩下保太郎 本月三日著任

海軍公報 第八百六十五號

昭和四年十二月四日

一二五七

前任 海軍省人事局長 海軍大佐 小林宗之助 本月三日退應	前任 海軍省醫務局長 海軍軍醫中將 小川 龍 本月三日著任	前任 海軍省醫務局長 海軍軍醫中將 大貫安三 本月三日退應	新任 海軍航空本部 教育部長 海軍大佐 秋山虎六 本月二日著任	前任 海軍航空本部 教育部長 海軍少將 小林省三郎 本月三日退應	○海軍航空本部 造兵監督官異動	出張 地方	職	官	氏	名
神戶 海軍航空本部 造兵監督官	東京 海軍航空本部 造兵監督官	大阪 海軍航空本部 造兵監督官	東京 海軍航空本部 造兵監督官	神戶 海軍航空本部 造兵監督官	東京 海軍航空本部 造兵監督官	東京 海軍航空本部 造兵監督官	東京 海軍航空本部 造兵監督官	東京 海軍航空本部 造兵監督官	東京 海軍航空本部 造兵監督官	東京 海軍航空本部 造兵監督官
海軍機關少佐 鈴木 師	同	海軍機關中佐 永江 晋	海軍機關大佐 中道 忠夫	海軍中佐 福澤 哲四郎	海軍中佐 福澤 哲四郎	海軍少將 小野寺 恕	海軍中佐 福澤 哲四郎	海軍中佐 福澤 哲四郎	海軍中佐 福澤 哲四郎	海軍中佐 福澤 哲四郎

○「コレラ」患者發生（昭和四年十一月二十八日）
廣島縣安佐郡三入村男一、二十八日午後九時「コレラ」
眞症ト決定ス

○「コレラ」患者發生（昭和四年十一月三十日）
廣島縣安佐郡三入村女一、同郡可部町男一、三十日午
後三時三十分眞症「コレラ」、尙三入村隔離中ノ男一
「コレラ」保菌者ト決定ス

○正誤
九月九日公報號外辭令欄中「九月一日」ハ「九月二日」
ノ、十月三日辭令公報號外中五頁下段海軍少將市村久
雄ノ上「令司官」ハ「司令官」ノ、一六頁上段「霞ケ
浦」ハ「霞ケ浦」ノ、五九頁下段西村盛業ノ上「軍醫
中佐」ハ「軍醫大佐」ノ誤、四四頁下段「正木生虎」
ハ「近藤道雄」ノ前ニ入ルベキノ誤、同三十日公報訓
令欄中山澄忠三郎ノ上「少佐」ハ「大尉」ノ誤

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○十二月四日午前十時調

【横須賀】

阿蘇、筑摩、日進、金剛、八雲、赤城、古鷹、北上、長門、春日、滿州、口山城、榛名、青葉、衣笠、加古、加賀、鳳翔、五十鈴

▽峯風、澤風、沖風、矢風、灘風、汐風、島風、夕風、太刀風、帆風、羽風、秋風、朝風、春風、松風、旗風、楠、梅、杉、柏、松、野風、沼風、波風、神風、桂、楓

呂一、呂二、呂三、呂五、呂六、呂四、呂五、呂二、呂二〇、呂二一、呂五八、呂五七、呂五九、伊二、伊一、伊三、伊二四、伊二二、伊二三

▽掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、富士、尻矢、膠州、大和、鳴戶、高崎 (伊五九)

【浦賀】(嚴島)

【大湊】(大泊)

▽霧島、平戸、扶桑、勝力、淀、日向、神通、大井、韓崎、白鷹、天龍、阿武隈、

海軍公報 第八百六十五號 昭和四年十二月四日

伊勢、那珂、妙高、那智、鬼怒、長鯨

▽江風、谷風、菊、葵、海風、山風、檜、榎、濱風、時津風、天津風、磯風、若竹、吳竹、早苗、早蕨、萩、葛、藤、薄、夕顔、芙蓉、刈萱、朝顔、深雪、初雪、白雪、吹雪、霞雲、東雲、薄雲、自雲、磯波、浦波

呂一、呂二、呂二八、呂五三、呂五一、呂二七、呂二六、呂一四、呂一五、呂一六、呂一八、呂一七、呂一九、伊六一、伊五二、伊五一、伊五五、伊五三、伊五四、伊五八、伊五六

▽掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一一、掃一二、劍崎、攝津、石廊、朝日、間宮、襟裳、室戶 (伊五七)、(伊六四)

【大阪】(二見)、(綾波)

【神戸】(伊四)、(伊六二)

【鹿川】神威

【舞鶴】吾妻、多摩、(敷波) 呂三一

▽逆、蓼、蓬

【佐世保】若宮、夕張、駒橋、名取、出雲、球磨

龍田、對馬、常磐、熱海、比叡、陸奥、
 迅鯨、由良、長良、川内、足柄、羽黒、
 桐、櫻、橋、樺、皐月、水無月、文月、
 長月、望月、菊月、三日月、夕月、櫻、
 桃、柳、檜、竹、樅、榎、梨、追風、
 疾風、朝風、夕風、葦、菱、董、如月、
 睦月、彌生、卯月
 呂二、呂三、呂四、呂五、呂二五、
 呂二四、呂二三、呂三〇、呂二九、
 呂三一、呂六五、呂六六、呂六七、
 伊六三、呂六八、呂六三、呂六四、
 呂六一、呂六〇、呂六二
 敷島、知床、能登呂、鶴見、早瀬、野島
 (朝霧)、(伊六〇)

馬公、檳榔、榆、栗
 旅順、檳榔、櫻、桑
 青島、木曾
 上海、保津
 南京、浦風
 湖、伏見
 江、嵯峨
 漢口、矢矧
 長沙、岡田
 宜昌、堅田
 重慶、勢多

【廣東】 宇治

【航海中】

隱戸 (十一月十六日吳發「ロスアンゼルス」へ)
 佐多 (十一月二十一日佐世保發「ロスアンゼルス」へ)
 磐手、淺間 (十一月二十四日「ヒロ」發「ヤルト」へ)
 洲崎 (十一月三十日「ホノルル」發「ロスアンゼルス」へ)
 安宅 (一日漢口發「上海」へ)
 鳥羽 (一日沙市發「上海」へ)
 青島 (二日横須賀發「佐世保」へ)
 利根 (三日南京發「上海」へ)
 比良 (三日宜昌發「漢口」へ)

(部内紙一頁)

海軍公報

第八百六十六號

海軍大臣官房

昭和四年十二月五日(木)

○辭令

海軍中佐 木幡 行

第二課兼第一課勤務ヲ命ス

第一課服務ヲ命ス

勤

海軍少佐 市岡 壽

第一課勤務ヲ命ス(以上社団法人海軍省教育局)

海軍中佐 山村 實

(各通)

同 堀内 茂禮

第一課勤務ヲ命ス

海軍機關中佐 足立 吉平

第三課勤務ヲ免シ第一課兼第二課第三課勤務ヲ命ス

同 海軍主計中佐 桑久保 俊次

第三課勤務ヲ命ス(以上社団法人海軍省軍需局)

電氣研究部勤務ヲ命ス 海軍中佐 武田 哲郎

(各通)

海軍大尉 山石 寛二

海軍造機大尉 喜安 貞雄

科學研究部勤務ヲ命ス

海軍造兵大尉 氣多 猛

電氣研究部勤務ヲ命ス(以上社団法人海軍技術研究所)

○雜款

○旗艦變更

第一水雷戰隊司令官ハ十一月三十日旗艦ヲ神通ヨリ那珂ニ變更セリ

○司令驅逐艦變更

第二十九驅逐隊司令官ハ本月二日司令驅逐艦ヲ追風ヨリ夕風ニ變更セリ

○第五驅逐隊(春風、旗風、松風、朝風)行動豫定

地名 着

横須賀 十二月七日
大湊 十二月九日

○郵便物發送先

海軍公報 第八百六十六號 昭和四年十二月五日

二二六一

2107

第一航空戰隊司令部宛

十二月七日迄ニ到達見込ノモノハ 軍艦加賀
其ノ後ハ 軍艦鳳翔

十二月七日迄ニ到達見込ノモノハ 横須賀
其ノ後ハ 佐世保

軍艦鳳翔、第一驅逐隊(野風、沼風、波風、神風)宛
從前ノ通 横須賀

第一水雷戰隊司令部宛
自今 軍艦那珂

第五驅逐隊(春風、旗風、松風、朝風)宛
十二月六日迄ニ到達見込ノモノハ 横須賀
其ノ後ハ 大湊

○通信
海軍通信略語改正追加貼付紙第七號及同附錄本日發送
終了ニ付來十五日迄ニ未着ノ向ハ御通知ヲ得度
(海軍省軍務局)

○海軍航空本部造兵監督官異動

出張 地方	職	官 氏 名
----------	---	-------

東京 (首座)	海軍航空本部造兵監督官 造兵監督官海軍航空本部造 兵監督官海軍航空本部造	海軍大佐 貝沼門次郎
------------	--	------------

○出發

米國 海軍主計少佐 島津惣次
駐在 同 吉月五日東京發
日横濱發 淺間丸

○艦船所在

△印△ハ△ホ△フ
指定ヲ要セズ

○十二月五日午前十時調

【横須賀】

阿蘇、坑摩、日進、金剛、八雲、赤城、古鷹、北上、長門、春日、滿州、口山城、榛名、青葉、衣笠、加古、加賀、鳳翔、五十鈴

△峯風、澤風、沖風、矢風、灘風、汐風、島風、夕風、太刀風、帆風、羽風、秋風、楠、梅、神、杉、柏、松、野風、沼風、波風、神風、桂、楓、朝風、春風、松風、旗風

呂一、呂二、呂三、呂五、呂六、呂四、呂五、呂二、呂三、呂二〇、呂二一、呂五八、呂五七、呂五九、伊二、伊一、伊三、伊二四、伊二一、伊二三、伊二三

△掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、富士、尻矢、膠州、大和、鳴戶、高崎

【浦賀】

(嚴島)

【大湊】

大泊

【吳】

霧島、扶桑、勝力、淀、日向、神通、大井、韓崎、白鷹、天龍、阿武隈、伊勢

△那珂、妙高、那智、鬼怒、長鯨、平戸、江風、谷風、菊、葵、海風、山風、楢、濱、濱風、時津風、天津風、磯風、若竹、吳竹、早苗、早嶽、萩、葛、藤、薄、夕顔、芙蓉、刈萱、朝顔、深雪、初雪、白雪、吹雪、叢雲、東雲、濃雲、白雲、磯波、浦波

呂一、呂五二、呂二八、呂五三、呂五一、呂二七、呂二六、呂一四、呂一五、呂一六、呂一八、呂一七、呂一九、伊六一、伊五二、伊五一、伊五五、伊五三、伊五四、伊五八、伊五六

△掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一一、掃一二、劍崎、攝津、石廊、朝日、問宮、襟裳、室戸

(伊五七)、(伊六四)

【大 阪】(二見)、(綾波)

【神 戸】(伊四)、(伊六二)

【德 山】神威

【舞 鶴】吾妻、多摩、呂三

△逆、蓼、蓬

(敷波)

【佐世保】若宮、夕張、駒橋、名取、出雲、球磨

龍田、對馬、常磐、熱海、比叡、陸奥、
 迅鯨、由良、長良、川内、足柄、羽黒、
 桐、櫻、橘、樺、阜月、永無月、文月、
 長月、望月、菊月、三日月、夕月、櫻、
 桃、柳、檜、竹、樅、榎、梨、葦、菱、
 菖、如月、睦月、彌生、卯月、夕風、
 追風、疾風、朝風
 呂二、呂三、呂四、呂五、呂二四、
 呂二三、呂三〇、呂二九、呂三二、
 呂六五、呂六六、呂六七、伊六三、
 呂六八、呂六三、呂六四、呂六一、
 呂六〇、呂六二
 敷島、知床、能登呂、鶴見、早瀬、野島
 (朝霧)、(伊六〇)

馬 公 榭、柿、榆、栗
 旅 順 榭、椿、櫻、桑
 青 島 木會
 上 海 保津、利根
 南 京 浦風
 燕 湖 伏見
 九 江 嵯峨
 漢 口 矢矧
 長 沙 瀏田
 宜 昌 堅田
 重 慶 勢多

【廣東】 宇治
 【航海中】
 隱戸 (十一月十六日吳發)「ロスマンセルス」へ
 佐多 (十一月二十一日佐世保發)「ロスマンセルス」へ
 磐手、淺間 (十一月二十四日「ヒロ」發)「ヤルト」へ
 洲崎 (十一月三十日「ホノルル」發)「ロスマンセルス」へ
 安宅 (一日漢口發)「上海」へ
 島羽 (一日沙市發)「上海」へ
 青島 (二日横須賀發)「佐世保」へ
 比良 (三日宜昌發)「漢口」へ
 呂二五 (四日佐世保發)「吳」へ

(部内限一頁)

水交住第四號

昭和四年十一月十五日

社員御中

法財 東京水交社

東京水交社社營貸住宅ノ件

竊ニ當社カ東京府ヨリ借入レタル低利資金ノ一部ヲ以テ左記ニ依リ社營貸住宅ヲ建設中ニ有之竣成ノ上ハ貸與致ス可ク候ニ付御諒相成度

追テ竣工迄ニハ相當期日有之候モ便宜上豫約ヲ受附中候ニ付御希望者ハ當社ニ御申出相成度

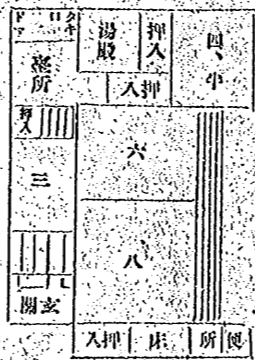
左記

一、場所 荏原郡目黒町大字中目黒字田道一番地 (元陸軍自黒火藥製造所跡)

市電目黒線 下車徒歩約八分

二、建設戸數 二二戸

三、間取り



瓦葺、水道設備

四、家賃 月額參拾貳、參圓程度

五、借用資格及順序

借用者ハ在職社員トシ使用資格順位ヲ左ノ通定メ居住ニ關シテハ借用申込順トス

(一) 在京官衙學校勤務ノ尉官

(二) 其ノ他

六、住宅竣工期 昭和四年十二月末

七、使用規程ハ立案中ニ付出來ノ上ハ要スル向ニ送付ス

海軍公報 第八百六十七號

昭和四年十二月六日(金)
海軍大臣官房

○通牒

官房第三七七三號ノ二 昭和十七年官房第三七七三號
ヲ六段ニ改定ス

昭和四年十二月六日

海軍次官



關係各廳長殿

軍醫科藥劑科士官ノ配員並ニ教育ニ關

スル件通知

首題ノ件ニ關シ別紙ノ通決裁相成候

(別紙)

昭和四年十二月三十日官房第三七七三號決裁

軍醫科藥劑科士官ノ配員並ニ教育ニ關

スル件仰裁

初任軍醫科藥劑科士官ハ大正十四年官房第九二三號ノ
二ニ依リ練習艦ニテ外國航海セシメラレタル處海軍各
學校生徒ノ修業年限延長ニ伴ヒ昭和五年度以降任官ス
ベキ軍醫科藥劑科士官ハ任官ノ年ニ於テ外國航海セシ

海軍公報 第八百六十七號 昭和四年十二月六日

ムルコト能ハザルコトナリタルニ就テハ爾今軍醫科
藥劑科士官ノ配員並ニ教育ハ左記ニ依リ取計可然哉

記

一、軍醫學生、藥劑學生、軍醫中少尉及藥劑中少尉

(一) 永久服役者

(イ) 軍醫學生及藥劑學生ハ在學中一回最寄軍港若ハ

要港ノ見學ヲ行ハシム

(ロ) 任官後約一箇月間横須賀鎮守府附トシ海軍砲術

學校ニ於テ必要ナル軍事學ヲ修得セシム

(ハ) 續テ海軍軍醫學校普通科學生トス

(ニ) 七月下旬艦船其ノ他ニ配員シテ實務ニ就カシム

(ホ) 配員ノ狀況之ヲ許ス限リ翌年練習艦ニ乗組マシ

メ外國航海セシム

(ヘ) 外國航海終了セバ艦船其ノ他ニ配員シテ實務ニ

就カシム

(二) 二年現役者

(イ) 九月上旬任官後約一箇月間横須賀鎮守府附トシ

二二六五

海軍砲術學校ニ於テ必要ナル軍事學ヲ修得セシム

（ロ）續テ約三箇月間海軍軍醫學校普通科學生トス

（ハ）續テ艦船其ノ他ニ配員シテ實務ニ就カシム

二、海軍軍醫學校高等科學生

各期學生ノ修業期間ハ夫々約六箇月トス

三、海軍軍醫學校選科學生

（一）校内ニ於テ修業セシムル者

（イ）内科學若ハ外科學修習者

修業期間ヲ二箇年トス

（ロ）其ノ他ノ學科修習者

修業期間ヲ一箇年トス

（二）部外ニ委托シ修業セシムル者

修業期間ヲ二箇年トス

海人第三六三號

昭和四年十二月六日

海軍省人事局

關係各廳御中、

職員錄原稿ノ件照會

昭和五年二月二日現在職員錄發行ノ爲原稿調製方内閣

印刷局長ヨリ照會有之候ニ付テハ貴廳ニ係ル分左記ニ據リ調製ノ上期日迄ニ當局ニ御送付相成度

記

一、昭和五年一月一日現在ノ高等官同待遇者及之ニ準ズル公務員ヲ錄スルコト

一、氏名ノ上ニ附シタル官職名前行ニ同ジキトキハ「同」字ヲ用フルコト

一、課長部長所長等ヲ除ク外氏名頭書ノ委員名掛長勤務課名ハ省略スルコト

一、氏名中讀方ノ特ニ困難ナルモノニ限り振り假名ヲ附スルコト前年ノ例ニ依ル

一、勳等ニ旭日章及瑞寶章等ノ區別ヲ表示スルコト前年ノ例ニ依ル

一、在京官廳ノ課長以上ノ職ニ在ル者及各省秘書官並ニ勅任官ハ住所電話ヲ記入スルコト

一、大臣官房（陸海軍ヲ除ク）朝鮮臺灣ノ總督官房ノ外ハ課別ニセザルコト

一、朝鮮ノ各道臺灣ノ各州廳管下以外ノ官署ニハ所在地及電話ヲ記載スルコト

一、用紙ハ美濃野和紙ニシテ一段書トスルコト

一、字體ハ楷書體ニシテ明瞭ニ記シ特ニ氏名ニハ注意

ノコト
 一、其ノ他一般編纂ノ體裁ハ昭和四年一月職員録ノ例ニ依ルコト
 一、原稿當局ニ到達ノ期日 一月七日
 一、昨年十二月六日海軍第二〇四號(十二月六日海軍公報)參照ノコト

○辭令

○昭和四年十二月五日
 任海軍技手 尾原 龍郎
 給六級俸

海軍技手 尾原 龍郎
 吳海軍建築部勤務ヲ命ス(海軍省)
 依願免本官(同) 海軍技手 尾原 龍郎
 大 塩 幹
 海軍技術研究所ニ於ケル業務囑託ヲ解ク(海軍艦政本部)

○雜款

○司令驅逐艦變更

第三驅逐隊司令ハ本月三日司令驅逐艦ヲ灘風ヨリ汐風ニ變更セリ

○在外武官宿所變更

米國駐在海軍大尉中野實ハ宿所ヲ左記ニ變更セリ

記

Lieutenant M. Nakano, I. J. N.,
 29 Wendell St., Cambridge, Mass.,
 U. S. A.

○艦船所在

指[△]印[△]ハ[△]ホ[△]ニ[△]
指[△]定[△]ヲ[△]要[△]セ[△]ズ

○十二月六日午前十時調

【横須賀】

阿蘇、筑摩、日進、金剛、八雲、赤城、

古鷹、北上、長門、春日、滿州、口山城、

榛名、青葉、衣笠、加古、加賀、

鳳翔、五十鈴

區峯風、澤風、沖風、矢風、區汐風、島風、

灘風、夕風、區太刀風、帆風、羽風、秋風、

區楠、梅、區榊、杉、柏、區野風、沼風、

波風、神風、桂、楓、區朝風、春風、松風、

旗風

呂一、呂二、呂三、區呂五六、

呂五四、呂五五、區呂二二、呂二〇、

呂二一、區呂五八、呂五七、呂五九、

區伊二、伊一、伊三、區伊二四、伊二一、

伊二二、伊二三

區掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五

富士、尻矢、膠州、大和、鳴戸、高崎

(伊五九)

【浦賀】

(嚴島)

【大湊】

大泊

【吳】

霧島、扶桑、勝力、淀、日向、神通、

大井、韓崎、自鷹、天龍、阿武隈、伊勢、

區那珂、妙高、那智、區鬼怒、區長鯨、平戶

區江風、谷風、菊、葵、區海風、山風、檜、

檜、區濱風、時津風、天津風、磯風、

區早蕨、若竹、吳竹、早苗、區萩、葛、藤、

薄、區夕顏、芙蓉、刈萱、朝顔、區深雪、

初雪、白雪、吹雪、區叢雲、東雲、薄雲、

白雲、磯波、浦波

呂一、呂五二、呂二八、呂二五、

區呂五三、呂五一、區呂二七、呂二六、

區呂一四、呂一五、呂一六、區呂一八、

呂一七、呂一九、伊六一、區伊五二、

伊五一、區伊五五、伊五三、伊五四、

區伊五八、伊五六

區掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一一、掃一二

劍崎、攝津、石廊、朝日、間宮、襟裳、

室戸

(伊五七)、(伊六四)

(二見)、(綾波)

區神戶(伊四)、(伊六二)

區舞鶴(吾妻、多摩)

區蓮(蓼、蓬)

呂三一

(敷波)

區佐世保(若宮、夕張、駒橋、名取、出雲、球磨、

龍田、對馬、常磐、熱海、比叡、陸奥、

迅鯨、由良、長良、川内、足柄、羽黒、
 桐、櫻、橘、樺、阜月、水無月、文月、
 長月、望月、菊月、三月月、夕月、櫻、
 桃、柳、槍、竹、樺、樵、梨、葦、菱、
 蓮、如月、陸月、彌生、卯月、
 呂三、呂四、呂五、呂二四、
 呂三三、呂三〇、呂二九、呂三三、
 呂六五、呂六六、呂六七、伊六三、
 呂六八、呂六三、呂六四、呂六一、
 呂六〇、呂六一、
 敷島、知床、鶴見、早稲、野島、青島、
 (朝霧)、(伊六〇)

馬公、梅、柿、榆、栗、
 鎮海、夕風、追風、疾風、朝風、
 旅順、旗、椿、櫻、桑、
 青島、木曾、
 上海、安宅、保津、利根、
 南京、浦風、
 南、伏見、
 燕、磯、
 九、磯、
 漢、磯、
 長、磯、
 宜、磯、
 重、磯、
 廣、宇治

【ヤルト】 艦手、淺間

【航海中】

隱戸 (十一月十六日吳發「ロスマンゼルス」へ)
 佐多 (十一月二十一日佐世保發「ロスマンゼルス」へ)
 洲崎 (十一月三十日「ホノルル」發「ロスマンゼルス」へ)
 鳥羽 (一日沙市發「上海」へ)
 比良 (三日宜昌發「漢口」へ)
 能登呂 (五日佐世保發「横須賀」へ)
 神威 (六日徳山發「横須賀」へ)

(附録二頁、艘外三頁、部内限二頁)

海軍公報 號外

昭和四年十二月六日(金)
海軍大臣官房

○ 辭令

○昭和四年十一月十五日
敍正七位 海軍技師

○昭和四年十二月二日
敍正四位 海軍中將 鳥巢 玉樹

(各通)

敍從五位 海軍中佐 山内 雲吉

(各通)

敍從六位 海軍少佐 仲村 保造

海軍公報 號外

同 海軍主計大尉 南部 忠藏
同 海軍特務大尉 伊藤 甚次郎
同 海軍機關特務大尉 鈴木 多吉
同 高橋 吉太郎
同 稻生 由太郎
同 海軍主計特務中尉 中村 謙雄
同 波多野 兼吉

(各通)

海軍機關特務中尉 深道 三太郎
海軍特務少尉 伊藤 鎌平
同 浦田 直彌
同 中島 貞治
同 常石 博好
同 福本 貞祐
同 田村 豊吉
同 佐藤 兵七
同 高橋 慶吉
同 芳野 喜作
同 宮武 多治郎
同 安永 兩之助
同 吉川 久吉
同 楠見 正一
同 佐野 喜作
同 反田 一登
同 柴田 廣一

敏正七位

同
丹羽卯三郎

同
海軍機關特務少尉

羽原兼章

同
鈴木貞吉

同
洞田直三郎

同
筒井利平

同
神谷太市

同
黒木清彦

同
井藤宇七

同
川相千里

同
菅原太三郎

同
岩井定七

同
千葉龜代治

同
三谷信男

同
林田末藏

同
古賀武吉

同
海軍主計特務少尉

同
海軍特務少尉

同
柿沼善吉

同
海軍兵曹長

同
阪本正二

同
田原三男

同
前田德太郎

同
宮田龍衛

(各通)

同
河田正男

同
長谷川萬次郎

同
外村五市

同
竹久三作

同
市丸甚三郎

同
石橋福藏

同
市立突應

同
能都武雄

同
前田金喜

同
高木實男

同
土井勇五郎

同
増田由太郎

同
石川參止

同
山崎重良

同
矢部那一

同
松田仁三郎

同
田中明季

同
山内亀六

同
富田政二

同
菅野亀五郎

同
古剱仙太郎

敘從七位

海軍主計兵曹長	同	同	同	海軍船匠兵曹長	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	海軍機關兵曹長
山本留吉	山本茂太郎	佐藤早治	杉本留吉	加納久八	沖田政市	平野多聞	永田榮一	岡山米三	廣本鹿一	竹中源造	長瀬長次郎	齋藤友治	稻葉半次郎	木下正一	古川三郎	馬場豊壽	佐野松次郎

海軍公報 附錄

海軍大臣官房

昭和四年十二月六日(金)

本邦駐在外國海軍士官名簿

(昭和四年十二月五日調)

國別	職	官	勳	氏名	現官任命年月日	着任年月月	宿	所	家族
英	大使館附 武官	大佐	瑞三	C. V. Robinson	大正一〇・六・三〇	昭和 (三・二)	東京麻布北日ヶ窪三七 (青山五七七四)	夫 人	
英	駐在 輔佐官	機關中佐	瑞三	E. J. Allen	同 六・九・一	同 (五・七)	東京麻布霞町二 (青山九七〇九)	夫 人	
英	駐在	同		C. B. Evington	同 一・三・六・三〇	同 (三・六)	横濱山手町一一三 (本局二一八四)	夫 人	
英	同	大尉		E. H. M. Colegrave	同 三・三・二五	同 (五・六)	東京市外大森大伊勢原 二〇四九大島方		
英	同	同		C. N. R. Barham	昭和 三・五・二五	同 (四・四)	東京麻布北日ヶ窪三七 (青山五七七四)		
英	同	主計大尉		W. E. McLaughlin	大正 二・二・一	同 (三・一)	東京市外代々木上原一 一七四		
英	大使館附 武官	大佐		J. V. Ogan	昭和 二・六・二	昭和 (三・二)	東京赤坂南坂町一三 (青山五七六〇)		
英	輔佐官	大尉		A. H. McCollum	同 二・六・三	同 (三・一〇)	東京赤坂水川町三三 (青山五七六〇)	夫 人	
英	駐在	同		J. J. Rochefort	大正 五・三・六	同 (四・九)	東京本郷元町一ノ五 文化アパートメント (小石川二九三二)	夫 人	
米	同	中尉		L. D. Libenow	同 一・四・六・三	昭和 (三・一)	京都伏見福稻開土五九		

海軍公報 附錄

國波	國佛	國伯	國伊	國ソ	國	國	國	國	國	國	國	國
公使館附 陸軍武官	大使館附 武官	大使館附 武官	大使館附 武官	駐在 武官	大使館附 武官	同	同	同	同	同	同	同
陸軍少佐	中佐	中佐	陸軍中佐	先任大尉 (大尉相當官)	一等艦長 (大佐相當官)	海兵中尉	同	同	同	同	同	同
瑞四	旭四	旭四										
Henry E. Oyar-Raschman	J. A. E. Rosati	O. A. G. Lavigne	H. Fratini	N. Ernackoff	N. Borogoff	F. P. Pyzick	E. Watts	E. F. Layton	T. B. Birtley	K. D. Ringle	E. S. Pearce	
同 三二一	昭和 三三〇	同 四四五	大正 五三三	昭和 三五五		大正 五三六	同 二六五	昭和 二六五	同 一五六	同 一五六	同 一五六	
昭和 三三六	大正 一五二	昭和 四二二	昭和 四二二	同 三五八	昭和 四一〇	同 三二〇	同 三七七	同 四九九	同 二九〇	同 三二〇	同 二六六	
東京赤坂氷川町四 (青山 六三五二)	八 東京小石川關口町一九	東京麻布新龍土町二二 (青山 四〇七七)	帝國ホテル (銀 四〇〇一)	同	東京麩町裏袋ケ關ノ一 ソ國大使館内(銀 四九〇)	東京赤坂青山南町六ノ 一一七	東京麻布本村町四三	東京本郷元町一ノ五 文化アパルトメント (小石川 二九三二)	鎌倉材木座八一四	一一七 東京赤坂青山南町六ノ	京都伏見深草正覺九	
		令 夫人	夫 人	男 兒	夫 人		夫 人		夫 人			

海軍公報

第八百六十八號

海軍大臣官房

昭和四年十二月七日(土)

○雜款

○司令驅逐艦變更
第十三驅逐隊司令ハ本月三日司令驅逐艦ヲ若竹ヨリ早蕨ニ、第二十一驅逐隊司令ハ同日司令驅逐艦ヲ桐ヨリ樺ニ孰モ變更セリ

○郵便物發送先
特務艦野島宛

十二月十日迄ニ到達見込ノモノハ
同 十五日迄ニ 同 佐世保
同 二十二日迄ニ 同 徳山
同 二十七日迄ニ 同 横須賀
其ノ後ハ 同 吳
佐世保

○著任、退廳

新任 海軍省 海軍中將 山下巍八郎 本月五日著任
前任 海軍省 海軍中將 清水得一 本月五日退廳
軍需局長

○赴任

伯刺西爾國在勤帝國大使館附武官兼亞爾然丁國、智利國在勤帝國公使館附武官海軍大佐雪下勝美來十二月二十日午後零時四十分東京驛出發橫濱出港ノ淺間丸ニテ赴任ノ豫定

○海軍共濟組合診療所廢止

新原海軍共濟組合診療所十二月一日廢止セラル

○海軍共濟組合診療所改稱

各海軍共濟組合診療所ハ規則改正ノ結果十二月一日ヨリ左記ノ通改稱セラル

東京海軍共濟組合病院

大湊海軍共濟組合病院

馬公海軍共濟組合病院

鎮海海軍共濟組合病院

(海軍艦政本部)

○正誤

本月五日公報辭令欄中海軍中佐大島乾四郎ノ辭令文中「服務」ハ「勤務」ノ誤

海軍公報 第八百六十八號 昭和四年十二月七日

一二七一

○艦船所在

△印△ハホニ
指定ヲ要セズ

○十二月七日午前十時調

【横須賀】

阿蘇、筑摩、日進、金剛、八雲、赤城、古鷹、北上、長門、春日、滿州、口山城、榛名、青葉、衣笠、加古、加賀、鳳翔、五十鈴

△峯風、澤風、沖風、矢風、沙風、島風、灘風、夕風、太刀風、帆風、羽風、秋風、楠、梅、榊、杉、柏、松、野風、沼風、波風、神風、桂、楓、朝風、春風、松風、旗風

呂一、呂二、呂三、呂五、呂六、呂四、呂五、呂三、呂二、呂一、伊二、伊三、伊四、伊一、伊二、伊三、伊四、伊五、伊六、伊七、伊八、伊九、伊一〇、伊一一、伊一二、伊一三、伊一四、伊一五、伊一六、伊一七、伊一八、伊一九、伊二〇、伊二一、伊二二、伊二三、伊二四、伊二五、伊二六、伊二七、伊二八、伊二九、伊三〇、伊三一、伊三二、伊三三、伊三四、伊三五、伊三六、伊三七、伊三八、伊三九、伊四〇、伊四一、伊四二、伊四三、伊四四、伊四五、伊四六、伊四七、伊四八、伊四九、伊五〇、伊五一、伊五二、伊五三、伊五四、伊五五、伊五六、伊五七、伊五八、伊五九、伊六〇、伊六一、伊六二、伊六三、伊六四、伊六五、伊六六、伊六七、伊六八、伊六九、伊七〇、伊七一、伊七二、伊七三、伊七四、伊七五、伊七六、伊七七、伊七八、伊七九、伊八〇、伊八一、伊八二、伊八三、伊八四、伊八五、伊八六、伊八七、伊八八、伊八九、伊九〇、伊九一、伊九二、伊九三、伊九四、伊九五五、伊九六、伊九七、伊九八、伊九九、伊一〇〇

【浦賀】

△霧島、扶桑、勝利、淀、日向、神通、大井、韓崎、白鷹、天龍、阿武隈、伊勢、那珂、妙高、那智、鬼怒、長鯨、平戸

【大湊】

△霧島、扶桑、勝利、淀、日向、神通、大井、韓崎、白鷹、天龍、阿武隈、伊勢、那珂、妙高、那智、鬼怒、長鯨、平戸

△霧島、扶桑、勝利、淀、日向、神通、大井、韓崎、白鷹、天龍、阿武隈、伊勢、那珂、妙高、那智、鬼怒、長鯨、平戸

△江風、谷風、菊、葵、海風、山風、楢、榎、濱風、時津風、天津風、磯風、早蕨、吳竹、若竹、早苗、萩、葛、藤、薄、夕顔、芙蓉、刈萱、朝顔、深雪、初雪、白雪、吹雪、叢雲、東雲、濃雲、白雲、磯波、浦波

呂一、呂二、呂三、呂四、呂五、呂六、呂七、呂八、呂九、呂一〇、呂一一、呂一二、呂一三、呂一四、呂一五、呂一六、呂一七、呂一八、呂一九、呂二〇、呂二一、呂二二、呂二三、呂二四、呂二五、呂二六、呂二七、呂二八、呂二九、呂三〇、呂三一、呂三二、呂三三、呂三四、呂三五、呂三六、呂三七、呂三八、呂三九、呂四〇、呂四一、呂四二、呂四三、呂四四、呂四五、呂四六、呂四七、呂四八、呂四九、呂五〇、呂五一、呂五二、呂五三、呂五四、呂五五、呂五六、呂五七、呂五八、呂五九、呂六〇、呂六一、呂六二、呂六三、呂六四、呂六五、呂六六、呂六七、呂六八、呂六九、呂七〇、呂七一、呂七二、呂七三、呂七四、呂七五、呂七六、呂七七、呂七八、呂七九、呂八〇、呂八一、呂八二、呂八三、呂八四、呂八五、呂八六、呂八七、呂八八、呂八九、呂九〇、呂九一、呂九二、呂九三、呂九四、呂九五、呂九六、呂九七、呂九八、呂九九、呂一〇〇

△江風、谷風、菊、葵、海風、山風、楢、榎、濱風、時津風、天津風、磯風、早蕨、吳竹、若竹、早苗、萩、葛、藤、薄、夕顔、芙蓉、刈萱、朝顔、深雪、初雪、白雪、吹雪、叢雲、東雲、濃雲、白雲、磯波、浦波

△江風、谷風、菊、葵、海風、山風、楢、榎、濱風、時津風、天津風、磯風、早蕨、吳竹、若竹、早苗、萩、葛、藤、薄、夕顔、芙蓉、刈萱、朝顔、深雪、初雪、白雪、吹雪、叢雲、東雲、濃雲、白雲、磯波、浦波

△江風、谷風、菊、葵、海風、山風、楢、榎、濱風、時津風、天津風、磯風、早蕨、吳竹、若竹、早苗、萩、葛、藤、薄、夕顔、芙蓉、刈萱、朝顔、深雪、初雪、白雪、吹雪、叢雲、東雲、濃雲、白雲、磯波、浦波

△江風、谷風、菊、葵、海風、山風、楢、榎、濱風、時津風、天津風、磯風、早蕨、吳竹、若竹、早苗、萩、葛、藤、薄、夕顔、芙蓉、刈萱、朝顔、深雪、初雪、白雪、吹雪、叢雲、東雲、濃雲、白雲、磯波、浦波

△江風、谷風、菊、葵、海風、山風、楢、榎、濱風、時津風、天津風、磯風、早蕨、吳竹、若竹、早苗、萩、葛、藤、薄、夕顔、芙蓉、刈萱、朝顔、深雪、初雪、白雪、吹雪、叢雲、東雲、濃雲、白雲、磯波、浦波

△江風、谷風、菊、葵、海風、山風、楢、榎、濱風、時津風、天津風、磯風、早蕨、吳竹、若竹、早苗、萩、葛、藤、薄、夕顔、芙蓉、刈萱、朝顔、深雪、初雪、白雪、吹雪、叢雲、東雲、濃雲、白雲、磯波、浦波

△江風、谷風、菊、葵、海風、山風、楢、榎、濱風、時津風、天津風、磯風、早蕨、吳竹、若竹、早苗、萩、葛、藤、薄、夕顔、芙蓉、刈萱、朝顔、深雪、初雪、白雪、吹雪、叢雲、東雲、濃雲、白雲、磯波、浦波

△江風、谷風、菊、葵、海風、山風、楢、榎、濱風、時津風、天津風、磯風、早蕨、吳竹、若竹、早苗、萩、葛、藤、薄、夕顔、芙蓉、刈萱、朝顔、深雪、初雪、白雪、吹雪、叢雲、東雲、濃雲、白雲、磯波、浦波

△江風、谷風、菊、葵、海風、山風、楢、榎、濱風、時津風、天津風、磯風、早蕨、吳竹、若竹、早苗、萩、葛、藤、薄、夕顔、芙蓉、刈萱、朝顔、深雪、初雪、白雪、吹雪、叢雲、東雲、濃雲、白雲、磯波、浦波

△江風、谷風、菊、葵、海風、山風、楢、榎、濱風、時津風、天津風、磯風、早蕨、吳竹、若竹、早苗、萩、葛、藤、薄、夕顔、芙蓉、刈萱、朝顔、深雪、初雪、白雪、吹雪、叢雲、東雲、濃雲、白雲、磯波、浦波

△江風、谷風、菊、葵、海風、山風、楢、榎、濱風、時津風、天津風、磯風、早蕨、吳竹、若竹、早苗、萩、葛、藤、薄、夕顔、芙蓉、刈萱、朝顔、深雪、初雪、白雪、吹雪、叢雲、東雲、濃雲、白雲、磯波、浦波

△江風、谷風、菊、葵、海風、山風、楢、榎、濱風、時津風、天津風、磯風、早蕨、吳竹、若竹、早苗、萩、葛、藤、薄、夕顔、芙蓉、刈萱、朝顔、深雪、初雪、白雪、吹雪、叢雲、東雲、濃雲、白雲、磯波、浦波

△江風、谷風、菊、葵、海風、山風、楢、榎、濱風、時津風、天津風、磯風、早蕨、吳竹、若竹、早苗、萩、葛、藤、薄、夕顔、芙蓉、刈萱、朝顔、深雪、初雪、白雪、吹雪、叢雲、東雲、濃雲、白雲、磯波、浦波

海軍公報 第八百六十八號 昭和四年十二月七日

一三七三

區 樺、櫻、橘、桐、區 皇月、水無月、文月、
 長月、區 望月、菊月、三日月、夕月、區 櫻、
 桃、柳、檜、區 竹、樅、榎、梨、區 葦、菱、
 菫、區 如月、睦月、彌生、卯月
 呂二、呂三、呂四、呂五、區 呂二四、
 呂二三、區 呂三〇、呂二九、呂三三、
 區 呂六五、呂六六、呂六七、伊六三、
 區 呂六八、呂六三、呂六四、區 呂六一、
 呂六〇、呂六一
 敷島、知床、鶴見、早瀬、野島、青島
 (朝霧)、(伊六〇)
 馬公 區 梅、柿、栗
 鎮海 區 夕風、追風、疾風、朝風
 旅順 區 旗、桑
 芝罘 區 樺
 フドゥ海 區 樺
 青島 區 木曾
 上海 區 安宅、保津、利根
 南京 區 浦風
 九江 區 嗟賊
 漢口 區 矢矧、比良、伏見
 長沙 區 納田
 宜昌 區 堅田
 重慶 區 勢多
 廣東 區 宇治

【ヤルト】 下 磐手、淺間
 【航海中】
 隠戸 (十一月十六日吳發「ロスマンセルス」)
 佐多 (十一月二十一日佐世保發「ロスマンセルス」)
 洲崎 (十一月三十日「ホノルル」發「ロスマンセルス」)
 鳥羽 (一日沙市發「上海」)
 呂五八、呂五七、呂五九 (四日横須賀發「吳」)
 能登呂 (五日佐世保發「横須賀」)
 神威 (六日徳山發「横須賀」)
 檜 (六日馬公發「廣東」)

(部内限ナシ)

豫約募集會告

海軍省人事局調査

在郷海軍士官名簿

全二冊 實價金三十六錢(附録内地金四錢)

附諸手續便覽

袖珍本 (非賣品)

(此の實價は豫約部数一千部に對してのものなり三千部ともならば餘額減少す)

離現役後在郷士官各位が各方面に活動せられつつある状況を知ることには海軍との連絡上は勿論相互連絡の爲にも極めて必要のことなり

本名簿は右の見地より當局に於て豫て調査中なりしものを今回本會に於て引請け發行し實費を以て要望者に頒たんとするものにして内容は本年六月末日現在在郷士官(退役を含む)を各科官階別に「イロハ」順に依りて氏名を排列し冠するに職名(名譽職を含む)場所等を以てしたるものなり要望の向(各部に在ては取纏め要望者の官氏名を附記し)は來る十二月二十八日迄に豫約を申込まれ度尙内容の斬新を期する爲六月以後各位の關係方面に異動ありたる場合は其の旨豫約申込と同時に御通報を得ば訂正致すべく候

(附言) 本名簿に附したる諸手續便覽は當局の編纂に係り (一) 服役に関すること (二) 海技免狀授與申請に関すること (三) 恩給請求に関すること (四) 士官死亡の場合に関すること等、離現役後二身上に関する諸手續を知らんとする場合頗る便利のものなり

昭和四年十二月

東京市芝區榮町十三番地 水交社内

財團 有 終 會
法人

電話芝43一四五七番
振替東京三四一〇二番

2125

海軍公報

第八百六十九號

海軍大臣官房

昭和四年十二月九日(月)

○通牒

官房第三五九二號ノ四

昭和四年十二月九日

海軍次官

吳鎮守府參謀長殿
第一、第二艦隊參謀長殿

外國船内地不開港場寄港ノ件通牒

外國船レチチア號内地不開港場寄港出願ニ對シ今般左
記ノ通免狀交付相成候

第七一號

不開港場寄港免狀

- 一、船名 レチチア號
- 一、國籍 英國
- 一、種類 汽船
- 一、船主氏名及國籍 英國 アンカー、ドナルドソン 會社

- 一、船長氏名及國籍 英國人 タビツドテラー
- 一、噸數 一三、四七五噸
- 一、回航ノ目的 觀光
- 一、寄港地名 廣島縣宮島

右不開港場へ寄港ヲ許可ス

本免狀有効期間ハ昭和五年三月八日ヨリ昭和五年三月十日迄トス但シ必要ノ節ハ同期間内ト雖其ノ寄港ヲ差止ムルコトアルヘシ
昭和四年十二月三日

遞信大臣

(裏面)

航行心得

- 一、本船ハ帝國法令條約ヲ遵守スルハ勿論表面記載ノ港ニ於テ警察規則及各種港則ヲ遵守スヘシ
- 二、本免狀ハ何時タリトモ日本官吏ノ求メニ應シ其ノ検査ヲ受クヘシ
- 三、本船ハ本免狀記載ノ目的外ニ使用スヘカラス
- 四、前記ノ内何レノ箇條タリトモ之ニ違背スルトキハ

海軍公報 第八百六十九號

昭和四年十二月九日

一二七五

直ニ此ノ免許ヲ取消スヘシ
 五、此ノ免狀ノ期間滿了ノトキ又ハ免許ヲ取消セラレタ
 ルトキハ直ニ此ノ免狀ヲ返納スヘシ
 六、出帆前地方應ノ檢閲ヲ受クヘシ又陸海軍ニ於テ必
 要ト認ムルトキハ隨時檢閲スルコトアルヘシ
 備考

五日市ヨリ津久根島及西能美島西北端ヲ連ヌル線以
 東ニ立入ラサル事ニ示達シアリ

○ 辭 令

兼第五部勤務ヲ命ス 海軍中佐 堀内 茂禮

海軍大尉 出石 寛二

兼第一部第二課勤務第五部勤務ヲ命ス

海軍技手 多治見 一郎

第四部勤務ヲ命ス(以上^{註明}海軍艦政本部)

海軍少佐 村上 房三

自今主トシテ海軍艦政本部ニ於テ勤務スヘシ(五^{註明}海
 軍艦政本部長)

電氣研究部勤務ヲ命ス 海軍少佐 中島 正人

海軍特務少尉 黒宮 市太郎

検査官職務執行ヲ命ス(以上^{註明}海軍技術研究所)

○ 雜 款

○司令艇變更
 第一掃海隊司令ハ本月五日司令艇ヲ第六號掃海艇ヨリ
 第五號掃海艇ニ變更セリ

○特務艦野島行動豫定

地名	着	發
佐世保		十二月十一日
德山	十二月十二日	十六日
横須賀	十九日	二十三日
吳	二十六日	二十八日
佐世保	二十九日	

○練習艦隊(磐手、淺間)外國航海行動豫定中變更
 (六月七日本欄参照)

地名	着	發
コロン	十月二十一日	十月二十二日
バルボア	二十二日	二十四日
マンサニヨ	三十一日	十一月六日
ヒロ	十一月十八日	二十四日
ヤル	十二月五日	十二月七日
トラツク	十二月五日	十五日
サイパン	(寄港)	
父島(二見)	二十一日	二十二日

横須賀

二十四日

○著任、退廳

新任

海軍省經理局
第二課長

海軍主計大佐

大東健夫

本月三日著任

前任

海軍省經理局
第二課長

海軍主計大佐

元松直人

本月六日退廳

○艦船所在

△印、△ハ、△ホ、△フ、△セ

○十二月九日午前十時調

【横須賀】

阿蘇、筑摩、日進、金剛、八雲、赤城、古鷹、北上、長門、春日、滿州、戸山城、榛名、青葉、衣笠、加古、鳳翔、五十鈴

△峯風、澤風、沖風、矢風、△沙風、島風、瀨風、夕風、△太刀風、帆風、羽風、秋風、△楠、梅、△榊、杉、柏、△野風、沼風、波風、神風、桂、根

△呂一、△呂二、△呂三、△呂五六、△呂五四、△呂五五、△呂三三、△呂二〇、△呂二一、△伊二、△伊一、△伊三、△伊二四、△伊二一、△伊二二、△伊二三

△掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六、富士、尻矢、膠州、大和、鳴戸、高崎、神威、能登呂

【浦賀】(嚴島)

【大湊】

【大井】

霧島、扶桑、勝力、凝、日向、神通、大井、韓崎、白鷹、天龍、阿武隈、伊勢、那珂、妙高、那智、△鬼怒、△長鯨、△平戸

△江風、谷風、菊、葵、△海風、山風、檜、榎、△濱風、時津風、天津風、磯風、△早嶽、吳竹、若竹、早苗、△萩、葛、藤、薄、△夕顔、芙蓉、刈萱、朝顔、△深雪、初雪、白雪、吹雪、△叢雲、東雲、薄雲、白雲、磯波、浦波

△呂一、△呂二、△呂三、△呂四、△呂五、△呂六、△呂七、△呂八、△呂九、△呂一〇、△呂一一、△呂一二、△呂一三、△呂一四、△呂一五、△呂一六、△呂一七、△呂一八、△呂一九、△呂二〇、△呂二一、△呂二二、△呂二三、△呂二四、△呂二五、△呂二六、△呂二七、△呂二八、△呂二九、△呂三〇、△呂三一、△呂三二、△呂三三、△呂三四、△呂三五、△呂三六、△呂三七、△呂三八、△呂三九、△呂四〇、△呂四一、△呂四二、△呂四三、△呂四四、△呂四五、△呂四六、△呂四七、△呂四八、△呂四九、△呂五〇、△呂五一、△呂五二、△呂五三、△呂五四、△呂五五、△呂五六、△呂五七、△呂五八、△呂五九、△呂六〇、△呂六一、△呂六二、△呂六三、△呂六四、△呂六五、△呂六六、△呂六七、△呂六八、△呂六九、△呂七〇、△呂七一、△呂七二、△呂七三、△呂七四、△呂七五、△呂七六、△呂七七、△呂七八、△呂七九、△呂八〇、△呂八一、△呂八二、△呂八三、△呂八四、△呂八五、△呂八六、△呂八七、△呂八八、△呂八九、△呂九〇、△呂九一、△呂九二、△呂九三、△呂九四、△呂九五、△呂九六、△呂九七、△呂九八、△呂九九、△呂一〇〇

△掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一一、掃一二、劍崎、攝津、石廊、朝日、間宮、襟裳

△伊五七、△伊六四、△伊四、△伊六二、△伊三、△伊二、△伊一、△伊五、△伊六、△伊七、△伊八、△伊九、△伊一〇、△伊一一、△伊一二、△伊一三、△伊一四、△伊一五、△伊一六、△伊一七、△伊一八、△伊一九、△伊二〇、△伊二一、△伊二二、△伊二三、△伊二四、△伊二五、△伊二六、△伊二七、△伊二八、△伊二九、△伊三〇、△伊三一、△伊三二、△伊三三、△伊三四、△伊三五、△伊三六、△伊三七、△伊三八、△伊三九、△伊四〇、△伊四一、△伊四二、△伊四三、△伊四四、△伊四五、△伊四六、△伊四七、△伊四八、△伊四九、△伊五〇、△伊五一、△伊五二、△伊五三、△伊五四、△伊五五、△伊五六、△伊五七、△伊五八、△伊五九、△伊六〇、△伊六一、△伊六二、△伊六三、△伊六四、△伊六五、△伊六六、△伊六七、△伊六八、△伊六九、△伊七〇、△伊七一、△伊七二、△伊七三、△伊七四、△伊七五、△伊七六、△伊七七、△伊七八、△伊七九、△伊八〇、△伊八一、△伊八二、△伊八三、△伊八四、△伊八五、△伊八六、△伊八七、△伊八八、△伊八九、△伊九〇、△伊九一、△伊九二、△伊九三、△伊九四、△伊九五、△伊九六、△伊九七、△伊九八、△伊九九、△伊一〇〇

【大坂】

【神戶】

【舞鶴】

△伊五七、△伊六四、△伊四、△伊六二、△伊三、△伊二、△伊一、△伊五、△伊六、△伊七、△伊八、△伊九、△伊一〇、△伊一一、△伊一二、△伊一三、△伊一四、△伊一五、△伊一六、△伊一七、△伊一八、△伊一九、△伊二〇、△伊二一、△伊二二、△伊二三、△伊二四、△伊二五、△伊二六、△伊二七、△伊二八、△伊二九、△伊三〇、△伊三一、△伊三二、△伊三三、△伊三四、△伊三五、△伊三六、△伊三七、△伊三八、△伊三九、△伊四〇、△伊四一、△伊四二、△伊四三、△伊四四、△伊四五、△伊四六、△伊四七、△伊四八、△伊四九、△伊五〇、△伊五一、△伊五二、△伊五三、△伊五四、△伊五五、△伊五六、△伊五七、△伊五八、△伊五九、△伊六〇、△伊六一、△伊六二、△伊六三、△伊六四、△伊六五、△伊六六、△伊六七、△伊六八、△伊六九、△伊七〇、△伊七一、△伊七二、△伊七三、△伊七四、△伊七五、△伊七六、△伊七七、△伊七八、△伊七九、△伊八〇、△伊八一、△伊八二、△伊八三、△伊八四、△伊八五、△伊八六、△伊八七、△伊八八、△伊八九、△伊九〇、△伊九一、△伊九二、△伊九三、△伊九四、△伊九五、△伊九六、△伊九七、△伊九八、△伊九九、△伊一〇〇

【佐世保】

若宮、夕張、駒橋、名取、出雲、球磨、龍田、對馬、常磐、熱海、比叡、陸奥、迅鯨、△由良、長良、川内、△足柄

海軍公報 第八百六十九號 昭和四年十二月九日

二二七九

羽黒△
 樺、櫻、橘、桐、區阜月、水無月、文月、
 長月、區望月、菊月、三日月、夕月、區櫻、
 桃、柳、檜、區竹、樺、榊、梨、區葦、菱、
 菫、區如月、睦月、彌生、卯月
 呂二、呂三、呂四、呂五、區呂二四、
 呂二三、區呂三〇、呂二九、呂三二、
 呂六五、呂六六、呂六七、伊六三、
 呂六八、呂六三、呂六四、區呂六一、
 呂六〇、呂六二
 敷島△、知床、鶴見、早鞆、野島
 (朝霧)、(伊六〇)

馬公 樺、柿、栗
 鎮海 夕風、追風、疾風、朝風
 旅順 榎、桑、櫻、椿
 青島 木會
 上海 利根
 南京 浦風
 大冶 蟻賊
 漢口 矢矧
 長沙 閉田
 宜昌 堅田
 重慶 勢多
 廣東 宇治
 廣東 楡

【航海中】
 隠戸 (十一月十六日吳發)「ロスアンゼルス」へ
 佐多 (十一月二十一日佐世保發)「ロスアンゼルス」へ
 洲崎 (十一月三十日「ホノルル」發)「ロスアンゼルス」へ
 鳥羽 (一日沙市發)上海へ
 磐手、淺間 (七日「ヤルト」發)「トラツク」へ
 朝風、春風、松風、旗風 (七日横須賀發)大湊へ
 青島 (七日佐世保發)上海へ
 加賀 (八日横須賀發)佐世保へ
 比良 (八日漢口發)沙市へ
 伏見 (八日漢口發)大冶へ
 室戸 (八日吳發)西戶崎へ
 保津 (九日上海發)燕湖へ
 安宅 (九日上海發)南京へ

(部内限一頁)

海軍公報 第八百七十號

昭和四年十二月十日(火)
海軍大臣官房

○通牒

官房第二二五二號ノ六
昭和四年十二月十日

海軍次官

吳鎮守府 參謀長殿
第一、第二艦隊

外國船大名號船長更迭ノ件通牒

首題ノ件ニ關シ四月三十日附官房第二二五一號ノ五ヲ以テ通牒致置候處更ニ今般左ノ通更迭セル旨通知有之候

記

舊船長 英國人 エフ、ダブリュー、ゴッチ
新船長 同 ダブリュー、ダブリュー、チャンベル

(九月三十日本欄参照)

經豫第五四二號

昭和四年十二月十日

海軍公報 第八百七十號 昭和四年十二月十日

各支出官殿

豫算現況報告書ニ關スル件申進

海軍會計規程第三十七條ニ依ル本年度豫算現況報告書ハ指定期限迄ニ必ズ到達スル様提出相成度

海軍省 經理局長

○辭令

○昭和四年十二月十日

任海軍書記

岡田 六助

給八級俸

任海軍技手

中光 善人

給月俸七拾圓

任海軍技手

中胡 義雄

給月俸六拾圓

海軍水路部ニ於ケル測量事務囑託 桑原 新
員令報酬月額八拾五圓ヲ給ス(海軍省)

二二八二

舞鶴要港部附ヲ命ス 海軍書記 岡田 六助
吳海軍工廠附ヲ命ス 海軍技手 中光 善人

海軍技手養成所附兼吳海軍工廠附ヲ命ス 同 中胡 義雄

(通各) 故海軍三等兵曹傳直一父 傳 幾松
故海軍三等主計兵曹山本福松父 山本 助次郎

昭和二年勅令第五十七號ニ依リ金六百五十拾圓ヲ給與ス

故海軍二等水兵井澤與作母 井澤 ヨシ
昭和二年勅令第五十七號ニ依リ金六百圓ヲ給與ス

(通各) 故海軍三等兵曹傳直一父 傳 幾松
故海軍三等主計兵曹山本福松父 山本 助次郎

昭和三年海軍省告示第五號ニ依リ特ニ金百圓ヲ賜フ

百五十拾圓 内閣印刷局技師 坂井規矩一郎

三拾圓 内閣技手 田村 滯穂

百五十拾圓 遞信書記官 藤原 保明

(通各) 百五十拾圓 同 高妻 直道

五拾圓 遞信書記 椿 喜雅

貳拾圓 遞信屬 宮川 清

海軍省事務囑託ノ報酬トシテ金(各頭書ノ通)ヲ贈與ス

遞信技師 山本 幸男

海軍省及海軍軍令部ニ於ケル囑託ノ報酬トシテ金百五十拾圓ヲ贈與ス

特許局事務官 阿曾沼 正治

海軍ニ於ケル特許關係法規ニ關スル事務囑託ノ報酬トシテ金貳百圓ヲ贈與ス(以上皆同)

○ 雜 款

○ 旗艦變更

第一遣外艦隊司令官ハ本月八日旗艦ヲ安宅ヨリ利根ニ變更セリ

○ 司令驅逐艦指定

第十九驅逐隊司令ハ本月四日司令驅逐艦ヲ浦波ニ指定セリ

○ 司令驅逐艦變更

第七驅逐隊司令ハ本月七日司令驅逐艦ヲ榊ヨリ杉ニ、第二十七驅逐隊司令ハ本月四日司令驅逐艦ヲ葦ヨリ菱ニ執モ變更セリ

○出發		米國 駐在	海軍少佐 中村 勝平	同 昇一月廿日東京發 同 廿日橫濱發	大洋丸
佛國 駐在		同 男爵富岡 定俊	同 昇一月廿日東京發 同 廿日門司發	伏見丸	
駐在		海軍大尉 樋端 久利雄	同 昇一月廿日東京發 同 廿日神戶發		
○海軍艦政本部監督官異動					
出張 地方	職	官	氏	名	
東京 (首座)	造船監督官 監督官海軍航空兵 部造兵監督官海軍 艦政本部出仕			海軍大佐 貝 沼 門 次 郎	
東京	造兵監督官	海軍機關中佐	伊 達	和 助	
○移轉 東京造船造兵監督官事務所ハ本月十一日麴町區霞ヶ關 二丁目一番地海軍省構内ニ移轉ス					
○事務所設置 軍艦二見艀裝具事務所ヲ株式会社藤永田造船所(大阪 市住吉區柴谷町)内ニ設置シ本月七日ヨリ事務ヲ開始 セリ					

海軍公報 第八百七十號 昭和四年十二月十日

二八三

○艦船所在

△印ハハホフ
指定ヲ要セズ

○十二月十日午前十時調

【横須賀】

阿蘇、筑摩、日進、金剛、八雲、赤城、古鷹、北上、長門、春日、滿州、口山城、榛名、青葉、衣笠、加古、鳳翔、五十鈴

△峯風、澤風、沖風、矢風、△沙風、島風、灘風、夕風、△太刀風、帆風、羽風、秋風、楠、梅、△杉、柏、榊、△野風、沼風、波風、神風、桂、楓

△呂一、△呂二、△呂三、△呂五六、△呂五四、△呂五五、△呂三二、△呂二〇、△呂二一、△伊二、△伊一、△伊三、△伊二四、△伊二二、△伊二三、△伊二三

△掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六、富士、尻矢、膠州、大和、鳴戸、高崎、神威、能登呂

△浦賀(嚴島)(伊五九)

△大湊 △朝風、春風、松風、旗風

△吳 △霧島、扶桑、勝力、淀、日向、神通、大井、韓崎、白鷹、天龍、阿武隈、伊勢

△那珂、妙高、那智、△鬼怒、△長鯨、△江風、谷風、菊、葵、△海風、山風、檜、△早蕨、吳竹、若竹、早苗、△菽、葛、藤、薄、△夕顔、芙蓉、刈萱、朝顔、△深雪、初雪、白雪、吹雪、△霽雲、東雲、薄雲、白雲、△浦波、磯波

△呂一、△呂二、△呂三、△呂五、△呂五八、△呂五七、△呂五九、△呂五三、△呂五一、△呂二七、△呂二六、△呂二四、△呂一九、△呂一六、△呂一八、△呂一七、△伊五五、△伊六一、△伊五二、△伊五一、△伊五五、△伊五三、△伊五四、△伊五八、△伊五六

海軍公報 第八百七十七號 昭和四年十二月十日

△那珂、妙高、那智、△鬼怒、△長鯨、△江風、谷風、菊、葵、△海風、山風、檜、△早蕨、吳竹、若竹、早苗、△菽、葛、藤、薄、△夕顔、芙蓉、刈萱、朝顔、△深雪、初雪、白雪、吹雪、△霽雲、東雲、薄雲、白雲、△浦波、磯波

△呂一、△呂二、△呂三、△呂五、△呂五八、△呂五七、△呂五九、△呂五三、△呂五一、△呂二七、△呂二六、△呂二四、△呂一九、△呂一六、△呂一八、△呂一七、△伊五五、△伊六一、△伊五二、△伊五一、△伊五五、△伊五三、△伊五四、△伊五八、△伊五六

△掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一一、掃一二、劍埼、攝津、石廊、朝日、間宮、襟裳

△大 阪 (二見)、(綾波)

△神 戶 (伊四)、(伊六二)

△舞 鶴 吾妻、多摩、△蓮、△蓼、△蓬、△呂三一

△佐世保 若宮、夕張、駒橋、名取、出雲、球磨、龍田、對馬、熱海、比叡、陸奥、△迅鯨

△敷波

△佐世保

△神 戶

△舞 鶴

△佐世保

△佐世保

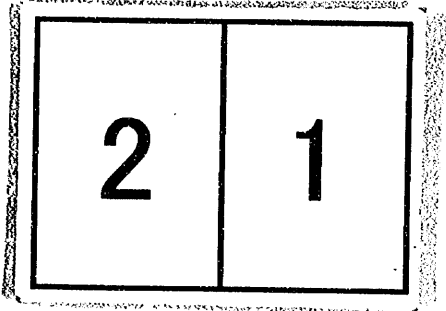
卜由良、長良、川内、口足柄、羽黒、
 長月、口望月、菊月、三日月、夕月、口望、
 桃、柳、柏、口竹、樅、榊、梨、口菱、葦、
 董、口如月、睦月、彌生、卯月、
 呂三、呂三、呂四、呂五、呂二四、
 呂三三、呂三〇、呂二九、呂三二、
 呂六五、呂六六、呂六七、伊六三、
 呂六八、呂六三、呂六四、呂六一、
 呂六〇、呂六二
 敷島、知床、鶴見、早瀬、野島
 (朝霧)、(伊六〇)

【廣東】 宇治
 榆
 【航海中】
 隠戸 (十一月十六日吳發「ロスマンセルス」)
 佐多 (十一月二十一日佐世保發「ロスマンセルス」)
 洲崎 (十一月三十日「ホノルル」發「ロスマンセルス」)
 鳥羽 (一日沙市發「上海」)
 磐手、磯間 (七日「ヤルト」發「トラック」)
 加賀 (八日横須賀發「佐世保」)
 比良 (八日漢口發「沙市」)
 伏見 (八日漢口發「大治」)
 保津 (九日上海發「蕪湖」)
 安宅 (九日上海發「南京」)
 平戸 (九日吳發「上海」)
 常磐 (九日佐世保發「寺島水道」)

【西戸崎】 室戸
 【馬公】 口梅、柿、栗
 【鎮海】 口夕風、追風、疾風、朝風
 【旅順】 口横、桑、櫻、椿
 【青島】 口木曾
 【上海】 口利根
 【南京】 青島
 【大治】 浦風
 【漢口】 嗟風
 【長沙】 矢矧
 【宜昌】 陰田
 【重慶】 堅田
 勢多

(部内限二頁)

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A 3版以上のため
文書等名	
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

昭和四年十二月八日

財團 東京水交社

社員御中

歲末用品特價即賣會開催御案内

先般當社ニ於テ個々別々「メロキヤス」類特價即賣會ハ相好好評ヲ得候様承ホリ候ニ就テハ今回東京市内一流商店ノミヲ勸誘シ左記ニヨリ歲末用品特價即賣會ヲ開催シ候ニ付何卒御誘ヒ合ヒ御來會被下度御案内申上候...

- 一、期間 昭和四年十二月十七日(金)十四日(土)十五日(日)ノ三日間、毎日午前九時半ヨリ午後五時迄トス
二、會場 芝公園東京水交社別館全部 (市電麻布飯倉「丁目」又ハ「狸穴」下車)
三、出品種類 會場別圖ノ通り
四、各商店ノ特約要領ハ左ノ通りトス
(一) 商品 現ニ各店ニ於テ販賣シツアル商品ニ限ルコト
(二) 特價 各店店頭ノ正價ヨリ少クモ五分以上減價シタルモノ (各店別減價割合ハ別表ノ通りトス)
(三) 保證 品質並價格ハ各店ノ名ヲ以テ保證シ得ルモノナルコト
(四) 引換 御買上品中萬一不良品アルトキハ店名札ヲ商品ニ附着シ備持テラバ本年末マデハ各商店ニ於テ引換ユルコト
(五) 配達 御買上者ニハ出口附近ニ油袋合同選送株式會社ガ出張シ左記貨金ニテ配達ノ御取扱ヲ致シマスガ引換會場ニ引換ユルコト
(六) 會包 壹貫目マデ(市内外トモ) 壹個金拾錢 壹貫目ヲ増ス毎ニ參割増、戸別、箱箱類ハ容積壹尺立方トス
(七) 食事 當日簡便ナル食事ハ常用食堂内ニ準備シテアリマス
(八) 廢物 成ルベク靴又ハ草履ニテ御來會ヲ願ヒマス (下足ノ設備ハアリマス)
(九) 將來ノ參考ニ致シマスガ本即賣會ニ關スル御意見ハ細大トナク御通知ヲ願ヒマス
(十) 御來會ノ節ハ指込ノ入場券ヲ御持參下サイ

◎社員若林 欽氏・高木氏令嬢ノ洋書十數点モ會場ニ陳列即賣ノ豫定

昭和四年十二月二十日東京水交社歲末特價即賣會會場

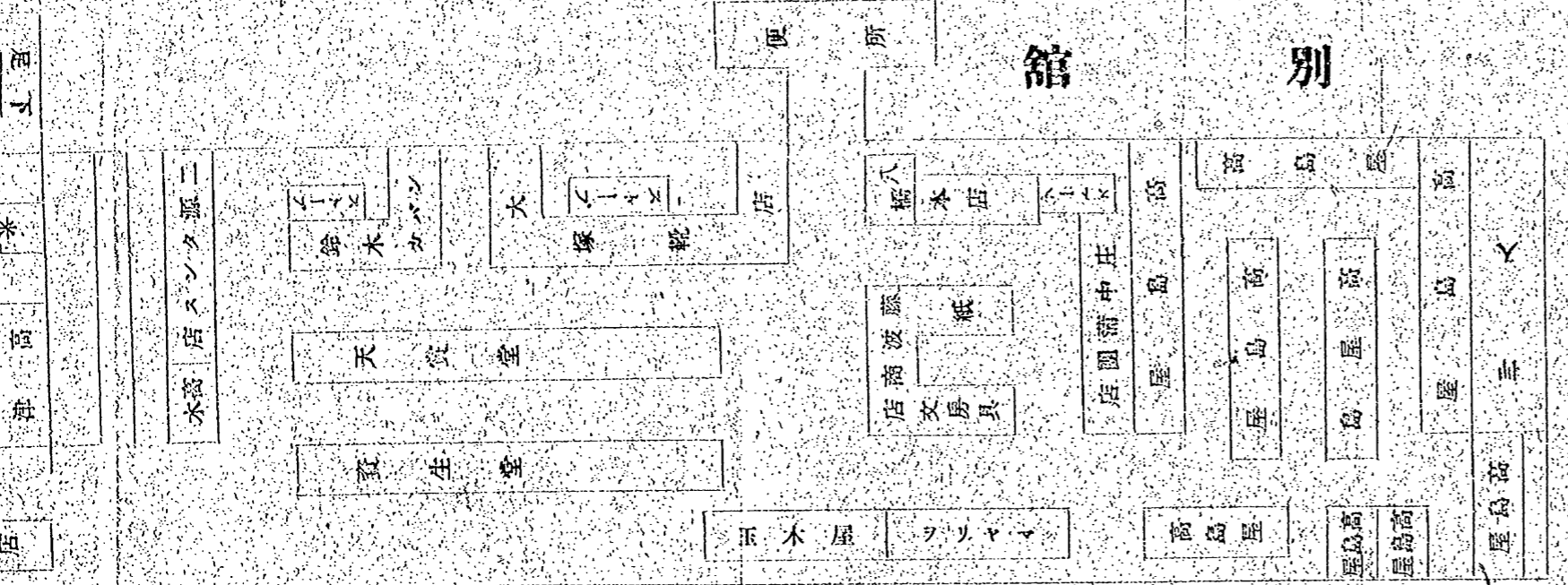


Table listing various goods and their discount rates. Columns include '商店' (Store), '出品' (Goods), and '減價率' (Discount Rate). Items listed include clothing, shoes, household goods, and foodstuffs.

海軍公報 第八百七十一號

昭和四年十二月十一日(水)
海軍大臣官房

○令 達

官房第三九三〇號 昭和十七年 達 第三三三號
海軍軍醫科藥劑科中少尉指導要領左ノ通定ム
昭和四年十二月十一日
臨時海軍大臣事務管理

海軍軍醫科藥劑科中少尉指導要領

- 第一條 本要領ハ海軍砲術學校ニ於ケル初任軍醫科藥劑科士官及練習艦ニ於ケル研究乘組ノ軍醫科藥劑科士官ノ指導ニ關スルコトヲ定ム
- 第二條 海軍砲術學校ニ於ケル指導ハ初任軍醫科藥劑科士官ヲシテ軍人精神ヲ涵養セシメ且海軍軍事一般ニ關スル概念ヲ會得セシムルヲ目的トシ其ノ期間ヲ約一箇月トス
- 第三條 練習艦ニ於ケル指導ハ初級軍醫科藥劑科士官ニ必要ナル學術技能ノ一部ヲ修得セシメ且海軍軍醫學校ニ於テ修得シタル事項ヲ實地ニ活用スルノ道ニ

習熟セシムルト共ニ益軍人精神ヲ涵養シ品性ヲ陶冶向上セシムルヲ目的トシ其ノ期間ヲ約六箇月トス

- 第四條 海軍砲術學校及練習艦ニ於ケル指導綱目ヲ左ノ如ク定ム但シ必要ニ應ジ軍醫科士官ト藥劑科士官トヲ區別シ適宜其ノ内容ヲ按配取捨スルコトヲ得
- 一、海軍砲術學校ニ於ケル指導綱目
 - (イ) 軍事學大意
 - (ロ) 海軍官制、服制、旗章、禮式、艦船兵器、機關、勤務、教育等海軍軍事ニ關シ海軍士官トシテ須知スベキ事項ノ大要
 - (ハ) 武科
 - (無銃隊教練、拳銃教練、短艇機漕、體操、武技、體技)
- 二、練習艦ニ於ケル指導綱目
 - 本科
 - (イ) 診察醫務
 - (ロ) 海軍衛生勤務法ノ實務

海軍公報 第八百七十一號 昭和四年十二月十一日

二二八七

(衛生ニ關スル諸法規、海軍軍醫科藥劑科士官ニ必要ナル諸法規、恩給ニ關スル諸法規、赤十字條約及醫務衛生ニ關スル國際法規ノ大要等)

(ハ) 軍陣醫學ノ一部

(救急法、傷者運搬法)

(ニ) 身體検査法、詐病診斷法

(ホ) 艦船艙裝ニ關スル醫務關係

(ヘ) 海軍衛生試驗法實習

(空氣検査法、飲料水検査法、被服糧食検査法等)

(ト) 港灣地方病學實習

補科

(イ) 寄港地見學報告

(ロ) 衛生講話

(ハ) 外國語(英語、獨逸語、佛語)

(ニ) 武科(概テ海軍砲術學校ノ指導綱目ニ準ズ)

第五條 練習艦ノ艦長ハ前條規定ノ外航海術、信號術、砲術、水雷術、運用術、機關術、電機術及會計經理ヲ特別教育課目トシ軍醫科士官トシテ須知スベキ事項ヲ修得セシムベシ

第六條 海軍砲術學校長及練習艦ノ艦長ハ部下士官ヲ指導官タラシメ指導ニ任ゼシムベシ

海軍砲術學校長及練習艦ノ艦長ハ軍醫科士官ヲ主任指導官タラシメ他指導官分擔以外ノ一般事項ノ指導ニ任ゼシムベシ

第七條 海軍砲術學校長ハ同學校ニ於ケル指導修了シタルトキハ指導計畫、實施成績及所見ヲ記シタル報告ヲ所屬長官ヲ經テ海軍大臣ニ提出シ別ニ上記書類寫各一通ヲ海軍軍醫學校長ニ送付スベシ

第八條 練習艦ノ艦長ハ指導ノ終期ニ於テ試驗ヲ行ヒ其ノ成績ヲ調査シ順序ヲ定メ意見ヲ附シ指導計畫、實施成績及所見ヲ記シタル報告ト共ニ海軍大臣ニ提出スベシ

第九條 練習艦二隻以上ナルトキハ首席艦長練習艦隊ノ令ハ指導ノ統一ヲ圖リ前條ノ成績ヲ取纏メ合併シテ順序ヲ定メ意見ヲ附シ其ノ他ノ報告ト共ニ之ヲ海軍大臣ニ提出スベシ

附則

初任海軍軍醫科藥劑科士官指導要領ハ之ヲ廢止ス

官房第三九三一號

左記ニ依リ運用術練習艦ニ於テ臨時運用術講習ヲ施行ス

左記第三號ノ講習員ヲ派遣スベシ

追テ任務共ノ他ノ都合ニ依リ派遣シ能ハザル者アラバ其ノ旨所屬長官ヨリ報告スルト共ニ運用術練習艦長ニ通報スベシ

昭和四年十二月十一日

臨時海軍大臣事務管理

記

一、講習科目

運用術ノ教育訓練ニ關スル事項

二、講習期間

昭和五年一月十五日ヨリ十日間

但シ講習員ハ昭和五年一月十四日横須賀ニ於テ軍艦春日ニ乗艦同月二十四日大阪ニ於テ同艦退艦ノコト

三、講習員

海軍少佐	森田 一男
同	千田 金二
同	矢野 美年
同	吉田 榮之助

○ 通 牒

軍務二第四三四號ノ二

昭和四年十二月十一日

海軍省軍務局長

各鎮守府、要港部 參謀長殿

第一、第二艦隊 汽船「トロール」漁業ニ關スル件通牒

汽船トロール漁業者共同漁業株式會社所有ニ係ルトロール汽船六隻ノ許可期間滿了ニ付同漁業取締規則第三條ノ四ノ規定ニ基キ漁業許可出願ニ對シ左ノ通許可セラル旨農林省水産局長ヨリ通知有之候

記

許可番號	船名	許可期間
第一號	伊吹丸	昭和四年十二月十六日ヨリ起算シ拾箇年
第二號	六甲丸	昭和四年十二月十五日ヨリ起算シ拾箇年
第三號	葉山丸	昭和四年十二月三日ヨリ起算シ拾箇年
第五號	新高丸	昭和四年十二月三日ヨリ起算シ拾箇年
第六號	寶永丸	昭和五年一月七日ヨリ起算シ拾箇年
第七號	辨天丸	昭和五年一月九日ヨリ起算シ拾箇年

(十月三十日海軍公報附錄參照)

○ 雜 款

昭和七年有報官等
ニテ本号自然消滅

自然消滅

○郵便物閉塞交換開始並ニ廢止
今般軍艦平戸ト長崎郵便局間ニ軍艦郵便ノ取扱ヲ開始シ軍艦對馬内地歸還ニ付軍艦郵便ノ取扱ヲ廢止セラレタリ
(海軍省)

○郵便物閉塞交換開始
特務艦早鞆北米方面行動中左記期間同艦ニ軍艦郵便ノ取扱ヲ開始セラレタリ
同艦内地發ノ日ヨリ「ホノルル」發迄ノ期間
(海軍省 副官)

○旗艦變更
第一航空戰隊司令官ハ本月八日旗艦ヲ加賀ヨリ鳳翔ニ變更セリ

○司令驅逐艦變更
第二十五驅逐隊司令ハ本月十日司令驅逐艦ヲ竹ヨリ樅ニ變更セリ

○宿所
海軍省軍需局長海軍中將山下魏八郎宿所左ノ通
桂原郡桂原町中延一一〇一(電話桂原二二五〇番)

○ 滯在地變更

海軍機關少尉重滿武雄ハ横須賀ヨリ佐世保へ滯在地變更ノ儀本月十日認許セラレタリ

○ 事務所設置

驅逐艦綾波艦裝具事務所ヲ株式會社藤永田造船所(大坂市住吉區柴谷町)内ニ設置シ本月五日ヨリ事務ヲ開始セリ

○ 試驗問題發送

一、第四十一期高等科電信術練習生採用試驗問題
(試驗期日五年一月二十一日)

一、第六十四期普通科砲術練習生採用試驗問題
(試驗期日五年一月十五日)

○ 本月五日發送濟

追テ各問題ニ對スル採照標準ハ試驗問題ト同封致置候

(海軍水雷學校)

○艦船所在

△印ハハカ
指定ヲ要セス

○十二月十一日午前十時調

【横須賀】

阿蘇、筑摩、日進、金剛、八雲、赤城、古鷹、北上、長門、春日、滿州、口山城、榛名、青葉、衣笠、加古、鳳翔、五十鈴

▽峯風、澤風、沖風、矢風、▽沙風、島風、灘風、夕風、▽太刀風、帆風、羽風、秋風、▽楠、梅、▽杉、松、柏、榎、▽野風、沼風、波風、神風、桂、楓

▽呂一、▽呂二、▽呂三、▽呂五六、▽呂五四、▽呂五五、▽呂三二、▽呂二〇、▽呂二一、▽伊二、▽伊一、▽伊三、▽伊二四、▽伊二二、▽伊二三、▽伊二三

▽掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六、富士、尻矢、膠州、大和、鳴戸、高崎、神威、能登呂

▽伊五九

▽伊五九

▽伊五九

▽伊五九

▽伊五九

▽伊五九

海軍公報 第八百七十一號 昭和四年十二月十一日

海軍公報 第八百七十一號 昭和四年十二月十一日

那智、▽鬼怒、▽長鯨

▽江風、谷風、菊、葵、▽海風、山風、楢、▽濱風、時津風、天津風、磯風、▽早蕨、吳竹、若竹、早苗、▽萩、葛、藤、薄、▽夕顔、芙蓉、刈萱、朝顔、▽深雪、初雪、白雪、吹雪、▽霞雲、東雲、薄雲、白雲、▽浦波、磯波

▽呂一、▽呂二、▽呂三、▽呂五、▽呂五八、▽呂五七、▽呂五九、▽呂五三、▽呂五一、▽呂二七、▽呂一六、▽呂一四、▽呂一九、▽呂一六、▽呂一八、▽呂一七、▽呂一九、▽伊六一、▽伊五二、▽伊五一、▽伊五五、▽伊五三、▽伊五四、▽伊五八、▽伊五六

▽掃七、掃八、掃九、掃一〇、掃一一、掃一二、劍崎、攝津、石廊、朝日、間宮、襟裳

▽伊五七、▽伊六四

▽伊五七、▽伊六四

▽伊五七、▽伊六四

▽伊五七、▽伊六四

▽伊五七、▽伊六四

▽伊五七、▽伊六四

▽伊五七、▽伊六四

▽伊五七、▽伊六四

▽伊五七、▽伊六四

二二九

▶申良、長良、川内▲、口足柄、羽黒▲
 長月、区望月、菊月、三日月、夕月、区櫻、
 桃、柳、檜、区縦、梨、竹、榎、区菱、葦、
 菫、区如月、睦月、彌生、卯月
 呂二、呂三、呂四、呂五、区呂二四、
 呂三三、区呂三〇、呂二九、呂三二、
 区呂六五、呂六六、呂六七、伊六三、
 区呂六八、呂六三、呂六四、区呂六一、
 呂六〇、呂六一
 敷島▲、知床、鶴見、早鞆、野島
 (朝霧)、(伊六〇)

【西戸崎】室戸
 【馬公】梅、柿、栗
 【鎮海】夕風、追風、疾風、朝風
 【旅順】区檜、桑、櫻、椿
 【青島】区木曾
 【上海】区利根
 青島
 【南京】安宅、鳥羽
 浦風
 【九江】蟻賊
 【大冶】伏見
 【漢口】矢矧
 【長沙】阴田

【宜昌】堅田
 【重慶】勢多
 【廣東】宇治
 檜
 【トラック】▶磐手、淺間

【航海中】
 隠戸 (十一月十六日吳發)「ロスアンゼルス」へ
 佐多 (十一月二十一日佐世保發)「ロスアンゼルス」へ
 洲崎 (十一月三十日「ホノルル」發)「ロスアンゼルス」へ
 加賀 (八日横須賀發)「佐世保」へ
 比良 (八日漢口發)「沙市」へ
 保津 (九日上海發)「蕪湖」へ
 平戸 (九日吳發)「上海」へ
 常磐 (九日佐世保發)「寺島水道」へ
 阿武隈 (十日吳發)「舞鶴」へ
 白鷹 (十日吳發)「廣島灣」へ

(部内限二頁)